

一宮市障害者自立支援協議会 運営会議（平成 21 年度第 8 回）

開催日時 平成 21 年 11 月 25 日（水）午後 1 時 30 分から

場所 一宮市役所 西庁舎 3 階会議室

杏嶺会 増田氏欠席

1、あいさつ

本会へのご協力ありがとうございました。

2、議事

（1）本会の報告

- ・協議会から市長宛に提言書が出されました。
相談支援体制整備は 22 年度に 5ヶ所設置
地域生活支援事業の見直し
- ・移動入浴について、移動入浴以外の入浴手段（生活介護等）が無い方の回数
の確保する工夫ができないかとの意見あり

（2）個別支援会議の報告

- 10月30日 20代 知的障害の男性、不安神経症の母から独立した生活と
母が本人のいない短期入所などのサービスを提案していく
- 11月5日 40代 知的・精神障害の女性、以前に個別支援会議あり。そ
の後新たに起こった問題と、土地・建物の整理について検討
- 11月10日 12歳 自閉症の男子、母が不在時の対応を祖父が行うことに
限界となっている。2人体制の居宅介護で複数事業所が同時
に入り、伝達をしつつ参入できる事業所を増やす
- 11月10日 夫婦で精神障害のある家庭、入院中の夫がどう退院するか
について検討。外泊での様子から支援方針を決めていく。
- 11月10日 50代 知的障害の男性、伯父により金銭管理をされていたが
困難になったため、成年後見制度や収入の確保について検討
- 11月18日 3歳の重複障害児、母子家庭で母が働くことを理由に短期入
所を利用。児にとって必要な支援について検討

（3）生活支援部会の進捗状況について

議事録にて報告

（4）講演会について

当日の会場設営、進行、役割分担等について確認
運営会議の活動報告について骨子案の検討

3、連絡・その他

保健所から精神の社会復帰教室の来年度予算が無くなる事について

一宮市障害者自立支援協議会 運営会議（平成 21 年度第 9 回）

開催日時 平成 21 年 12 月 22 日（火）午後 1 時 30 分から
場所 一宮市役所 西庁舎 3 階会議室
増田氏 福祉課長 欠席

1、あいさつ

講演会 ご協力ありがとうございました

2、議事

（1）個別支援会議の報告

- 12 月 2 日 知的障害者同士の結婚について、家族・親戚が出席して、支援の必要なことについて整理
- 12 月 11 日 精神障害の女性、これまでも個別支援会議を開催している。今回は退院に際しての関係者での調整が目的
- 12 月 11 日 知的障害の女性、介護保険サービスを利用していたが、生活保護の他法優先の原則により、これまでの事業所が利用できなくなるため、対策を検討
- 12 月 17 日 知的障害・自閉症の児、母子家庭で母が勤めているため、障害福祉サービスを利用しているが、問題行動があるため対応について検討
- 11 月 26 日（簡易）
12 月 4 日（簡易）

（2）生活支援部会の進捗状況について

議事録で説明。

運営会議からの意見・・・金銭管理について、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業の使いづらところは社会福祉協議会により、改善とその要望を上部の社協にしていってもらい、時間がかかると思われるため、それまでのつなぎとして「一宮方式」を考える。

「一宮方式（案）」・・・事業所と本人（後見人）の契約で金銭管理をし、そのチェックを後見人がいる場合は後見人がし、本人との契約の場合は社会福祉協議会で行う。（ここにかかる人件費を市から出せないか検討）

→ 生活支援部会に持ち帰り検討

（3）講演会の反省

- ・参加 150 人ぐらい。学校からもっと参加できると良かった。→ 教育委員会の後援をもらうと良かった。
- ・今後は実行委員会形式にしていきたい

- ・一般には自立支援協議会が何をするとところか分からないから、こうやって紹介する場があるといい。年1回ぐらいあるといい。

(4) 個別支援会議の分析について

- ・時期 1月に入ったら作業開始
- ・方法は昨年に準じる
- ・担当者 相談支援連絡会メンバー7人、アドバイザー、事務局2人
- ・分析の過程で会長の野田先生にご指導頂けないか尋ねてみてはどうか

<個別支援会議の運営について>

- ・3ヵ月後報告として提出してもらっている分は、年1回相談支援事業所等に集ってもらい、今、どういう状況か語ってもらってはどうか
- ・詳細は相談支援事業所からのケースが多いことから、相談支援連絡会で検討する。

3、連絡・その他

一宮市障害者自立支援協議会 運営会議（平成 21 年度第 10 回）

開催日時 平成 22 年 1 月 27 日（水）午後 1 時 30 分から

場所 一宮市役所 6 階会議室

遠藤氏 長尾副会長 欠席

1、あいさつ

平成 22 年の予算について調整中。財政が厳しい中ではあるが、提言のあったものについてできるだけ実現できるようにしていきたい。

2、議事

（1）個別支援会議の報告

12 月 28 日 精神障害の女性、乳がんの手術が必要になり、乳がんのケアの専門担当者の参加により、治療方針、治療により予想される生活上の困難、それに対する支援の方法と提供者などを確認できた。結果、術後の支援がスムーズだった。

1 月 6 日 知的障害の男性。近所から毎夜、飲食店に行き、これまでに大枚を費やしているとの相談より関わり開始。本人の権利擁護、成年後見制度の利用、本人の日中活動のありかたなどを検討。

1 月 21 日 知的障害の女性。脳血管障害で介護保険での通所をしていたが、障害での生活介護への移行が必要となり、新たに通うことになる事業所を交えて、サービスを調整

*個別支援会議の分析の進捗について

昨年に準じた方法で実施。個別のシートを作成中。項目ごとの一覧表にしてから分析。分析に際し、自立支援協議会の野田会長にご指導いただく。

（2）生活支援部会の進捗状況について

議事録参照

ヘルパーの人材確保では、介護の分野のヘルパーさんたちに障害の分野に参入してもらえるようにしたい。

（3）相談支援連絡会の位置づけについて

・元々は、関わっている事例を相談したり、情報交換する場として始まった。相談に直接携わる相談員から出てきた意見・提案を自立支援協議

会に反映できるようにしたい。

- ・組織として位置づけることで、自由な動きが制約されたり、負担がかかることが懸念される。
- ・協議会の一部と考えるのであれば、どこに位置づけるのが適当か？

*次回、要綱（案）と組織図（案）を検討する。

3、連絡・その他

- ・2月1日に地域活動支援センター「とぼす」開所予定
プログラムは固定せず、利用者が自由に活動できるスタイルにしたい。
開所は(月)～(金) 9:00～17:00

*次回 2月24日(水)の予定

一宮市障害者自立支援協議会 運営会議（平成 21 年度第 11 回）

開催日時 平成 22 年 2 月 24 日（水）午後 1 時 30 分から
場所 一宮市役所 5 階 第 1 会議室
渡辺氏 加藤課長欠席

1、あいさつ

自立支援協議会も設置から 2 年になる。目に見えないが、それぞれの機関が対応してきたことを、お互いに協力、連携して関わるようになった。これも成果と思われる。

2、議事

（1）個別支援会議の報告

- 1 月 29 日 知的障害の女性（37 歳）出入りしている民間団体で、「家に入れてもらえない」「お金を持たせてもらえない」などの訴えあり、家での状況確認のため開催。民間団体に協力してもらい、本人が望ましい行動ができるよう支援することになる。
 - 2 月 3 日 発達障害のある兄弟、母も父もうつ状態にあり、父の行きすぎた言動が見られるため、関係者ができることを示し、母が安心できるようにした。
 - 2 月 17 日 聴覚、知的（発達障害）精神障害のある男性、精神科に入院しているが、障害に配慮した通所などのサービスを組み合わせて在宅での生活が適すると考えられた。母のイメージができるように見学やプランを示すことが提案された。
 - 2 月 22 日 発達障害、身体障害の 18 歳男性。養護学校卒業後の生活支援について検討。離婚し別世帯になっている父が生活困窮していることが更に検討課題としてあげられた。
 - 2 月 5 日（簡易）筋ジストロフィーの女兒。複数の機関が関わっており、役割とどこが情報を集約するのかの確認がされた。
- * 児童虐待が心配されるケースあり、児童の入所できる施設を確保する必要があると感じている。

（2）生活支援部会の進捗状況について

議事録参照。金銭問題は日常生活自立支援事業の充実を求めつつ、モデル案を各機関で使用し実践を試みる。

人材確保については、介護保険事業所の参入と現任の研修を検討していく。

*モデル案をダウンロードできたり、協議会のやっていることがもっと広く伝わるようにHPなどの利用ができるといい。事業所データベースがあるといい。しかし、管理をどうするかが課題となるとおもわれる。

(3) 相談支援連絡会の位置づけについて

要綱(案)のとおり、組織図は一部修正して本会に提案する。

3、連絡・その他

- ・児童デイサービスについて、平成22年4月より中学生、高校生も支給決定対象とする。
- ・3月10日(水)精神保健福祉講演会「決して人ごとではないパニック障害」を開催します。

*次回 3月24日(水) 午後1時30分 西分庁舎 3階会議室

一宮市障害者自立支援協議会 運営会議（平成 21 年度第 12 回）

開催日時 平成 22 年 3 月 24 日（水）午後 1 時 30 分から

場所 一宮市役所 西分庁舎 3 階会議室

長尾副会長欠席

1、あいさつ

1 年間ありがとうございました。

当協議会から提言のあった事案について当初予算にあげており、26 日に正式に議決の予定です。

2、議事

(1) 個別支援会議の報告

2 月 22 日（簡易） 精神障害の女性。母と 2 人暮らしで生活保護を受けている。弟が失業して 2 人の生活費を使い込み、本人お生活が困窮していることで検討。

2 月 25 日 知的障害・自閉症の男性、別居していた弟が同居するようになり、生活の変化で混乱し他害行為を行うようになってしまったことへの検討。

2 月 26 日 アスペルガーの男性。少しのことで不安定となり、母に対し暴力がでることで検討。母も障害を理解し対応することと、福祉的就労を進めていくこととなる。

3 月 4 日 知的障害・自閉症の児童。複数の児童デイサービス等を利用しており、共通の認識での支援が受けられるよう検討。

3 月 17 日 身障・知的障害の児。母子家庭で母が働くことを理由に短期入所を多用し、十分な養育ができていないと思われる児。関係者で情報交換、今後の対応について検討。

(2) 生活支援部会の進捗状況について

議事録参照

施設見学については、まず下見をして案を作っていきたい。どういう層を対象とするのかなど、詳細を今後の検討していく。

(3) その他

- ・日中一時支援について今回事業所の要件緩和がされたが、支給決定について 23 日との上限だと実際の利用で困難になるケースがある。今後検討してもらいたい。
- ・運営会議のメンバーについて、MOVE のピースが 4 月から委託の相談支

援事業所となることからMOVEからも運営会議に参加してもらってはどうか。→ 異議なし

いずみ事業団の参加も必要なのではないかとの意見あり。

- ・協議会の公開について

対象は本会、運営会議、生活支援部会（個別支援会議、相談支援連絡会は個人情報保護の観点から公開に適さない）

→ 本会は傍聴も可能ではないか。開催周知はどうか。

要旨の公開との方法もある。市のホームページに出せないか。

→ 事務局でさらに検討

- ・平成 22 年度の事業について

本会は年 2 回（6 月、12 月ごろ）

21 年度に行った講演会のような研修を毎年開催できるといい

企画ができれば施設見学を実施

- ・自立支援協議会を周知する場について

福祉とボランティア展、各福祉会のまつり、地域のイベントでブースを設けるなどの活動ができるといい

3、連絡

平成 22 年度の運営会議、個別支援会議の日程確認

一宮市障害者自立支援協議会 運営会議（平成 22 年度第 1 回）

開催日時 平成 22 年 4 月 28 日（水）午後 1 時 30 分から

場所 一宮市役所 2 階 大会議室

1、あいさつ

今年度協議会メンバー、事務局担当者に変更あり。

事務局：福祉課は生活福祉課と 2 つにわかれた。名簿にある 4 人で担当します。

今回から新たに MOVE 佐伯氏が参加。長尾氏については本人からメンバー辞退の申し入れあった。

2、議事

（1）個別支援会議の報告

- 3 月 31 日：就労しているが、日常生活や金銭管理ができない男性。就労先と通勤寮、家族で本人の支援に関する情報提供を行い、各支援者の役割と今後の支援目標を確認した。
- 4 月 2 日：知的障害、精神障害のある女性。家の鍵を持たせてもらえない等の訴えあり、最初は虐待を疑ったケース。2 月に第 1 回目の会議を開催し、本人のいない所で問題を整理し、今回は本人の参加を得て本人の家族の中での評価を上げていくための支援方針を検討。
- 4 月 21 日：作業所とデイサービスを利用していたが、誤嚥性肺炎で入院した。入院前よりも機能低下がすすんでいるが、退院後在宅で生活するためにどのように本人を支援するかを検討した。
- 4 月 21 日：両親と 3 人で生活をしながら長年いずみ福祉園の作業所を利用していたが、両親の疾病等により、自宅で生活することができなくなり、今はいずみ福祉園の短期入所を利用。今後もしずみ作業所の通所が継続できる方法はないか検討した。ケアホームの設立や短期入所の支給量を増やすことが確認事項となったが、前者はできないとの回答、後者は実施可能であった。
- 4 月 27 日：ADHD、非行の診断のある 16 歳男性。職業訓練校自主退学後進路が決まっていなかったが、兄弟への暴力等あり、児相の紹介で入院となった。本人は就労意欲あり。就労にむけての援助方法や公私連携して支援していくことが話し合われた。
- 4 月 27 日：3 歳の重心児。両親の疲労が強く、レスパイトのため短期入所等の方法を検討。市内で児の受け入れ可能な施設がないため、看護師配置は今後の検討課題に。日中一時、移動入浴の利用希望あり。会議後担当者に確認し、日中一時は利用可、移動入浴は自宅の浴室で入れないなら可と回答した。

4件目のケースに関連して下記のように意見あり

他にもいずみ福祉園利用者から将来の居住の不安に関する相談が寄せられている。過去にいずみ福祉園の利用者にホーム入所の支援をしたこともある。

いずみ福祉会の10月の新法移行時にケアホーム設立を計画に盛り込めるとよいのでは。

いずみ福祉会にも運営会議に参加してもらいたい。

新法移行計画について福祉課から指導することはできないか。

福祉課からは、いずみ福祉会からはケアホームに関する予算要求はないこと、運営会議の参加については今後折衝することなど回答。

(2) 生活支援部会の進捗状況について

議事録参照

コスモス福祉会渡辺氏の説明はよかった。建物の説明よりもそこで働く人の熱意などが聞けるとよい。

(3) その他

地域のイベントで自立支援協議会の活動紹介をしてはどうか。

6月6日 きそがわ福祉会・ほのぼのまつり

10月16・17日 福祉とボランティア展(5月7日話し合い)

チラシ印刷(色紙)・チラシをB紙程度の大きさに拡大→福祉課で対応

パンフレットの中に入れて2,000枚配布可(ほのぼのまつり)。

協議会のコーナーを作って来場者に説明する。担当者は5月の生活支援部会で募集する。

協議会の公開について

平成22年第1回本会の議事録からホームページにアップする。委員の個人名は出さない。

資料添付。

第1回本会議事について

資料参照

(5)は第2回にまわす

提言の結果報告を追加

3、連絡

一宮市障害者自立支援協議会 運営会議（平成 22 年度第 2 回）

開催日時 平成 22 年 5 月 26 日（水）午後 1 時 30 分から
場所 思いやり会館 3 階 会議室

1、あいさつ

2、議事

（1）個別支援会議の報告

5 月 19 日：児童養護施設入所中の養護学校 3 年生。家庭基盤が脆弱で卒業後自宅に帰ることは難しいため、その後の進路について検討。本人は就労し、グループホームに入所することを希望。一般就労を目指して養護学校とスロープで支援し、居住の場については両親も納得の上決定できるように、児相がアプローチすることが話し合われた。

委員より：虐待で児相が介入し、施設へ措置したケース。18 歳になると児相も加入できず、本人を守る術がなくなる。他にも児童虐待で学校卒業後の処遇に困るケースあり。虐待の落ち着き先がホームになっている現状があるが、居住の場だけの問題ではない。

（2）生活支援部会の進捗状況について

議事録参照

日にち：10 月 7 日

福祉バス利用可。

周知：広報 9 月号掲載予定。7 月 25 日までに原稿提出。

7 月本会で報告予定。

（3）個別支援会議分析結果について

別添資料参照

野崎氏より

昨年と同様のやり方でまとめたが、来年度以降は検討したい。

理由：個々の記入の仕方を揃えるのに時間がかかる。

資料 1・2 の分析からは結論を導き出すことができず、まとめを作成するに当たって再度別の作業を要した。（課題をポストイットにおとして、カテゴリーに分けて整理した）

発達障害者への取り組みが必要との結果がでた。

→子ども・発達障害の専門部会の設置を

委員より

- ・資料はコンパクトにしてわかりやすく。
- ・障害種別の人口と個別支援会議にあがる数の比率を出す。
- ・全体のまとめ…検討内容 8 項目と改善できなかった問題 5 項目をわかりやすく。
- ・発達障害に関する数字は必要…12 件 / 35 件。
- ・新たな専門部会が必要ではあるが、設置可能かどうかの議論が運営会議で必要である。その上で本会で方向性を示すべき。

3、連絡・その他

野崎氏：住まいの確保に困る人の相談増。重点課題と考える。

児童施設に入っている人が地域に戻れないという問題もある。

まとめて協議会でデータ管理してはどうか。福祉会に属していない人のグループホーム待ちリストがあればグルーピングが楽になる。

障害福祉計画に記載してある公営住宅のグループホーム化が検討されていないのは問題。

この件を推進するための部会も必要。生活支援部会の中に入れてもよいが。

渡辺氏：グループホームの設立に関しては、補助金など市の援助がほしい。

事務局より

次回の運営会議では本会の役割決め、障害福祉計画進捗状況の見比べを行う。

本会：7月6日（火） 13：30～ 尾西庁舎5階B会議室

福祉とボランティア展：10月16日（土） スポ文

長机1個分行政のスペースあり。福祉のしおり、高年のちらしを置く。協議会のチラシを置くことを提案。同意あり。

一宮市障害者自立支援協議会 運営会議（平成22年度第3回）

開催日時 平成22年6月23日（水）午後1時30分から
場所 一宮市役所 7階 会議室

1、あいさつ

福祉課加藤課長より、災害時要援護者支援制度を説明し、法人内の施設職員への周知を依頼。

今回より新たに一宮市社会福祉事業団の櫻井氏が参加。

2、議事

(1) 個別支援会議の報告

6月1日：自閉症の27歳の息子と不安神経症の母の2人暮らし。経済的にも、母の体調的にも現在の生活の維持は困難なため、今後の生活について対策を検討。現在何とか2人の生活が成り立っているため、状況を関係者で見守りながら、必要な支援だけを提供していく。

6月16日：知的障害Cの15歳の孫娘と知的か認知が疑われる祖母の2人暮らし。近隣の方に献身的に生活を支えてもらっているが、現状のままでよいかを関係者で検討。本人（孫娘）と近隣の支援者の関係が親密で今のところ他の支援者が介入する余地がない。関係者で現状を見守りながら、まずは相談支援センターが時間をかけて本人のとの関係を構築していく。

6月18日：知的障害、自閉症の12歳の男児。昨年12月に個別支援会議を開催したが、その後支援する関係者が増え、本人に関する情報も多く集まったので、一度関係者で情報を整理し、今後の支援方針を検討。

6月21日：精神障害の52歳の男性。現在入院中であるが、退院後の在宅生活に向けて関係者が集まり検討。ゴミが散乱している自宅は、清掃業者に依頼する。費用は、いとこの方が立て替える。生活費についても、土地が処分できるまでいとこの方が援助する。

1件目のケースについて

個別支援会議でいずみ更生園職員に、自宅と施設の間地点までの送迎の支援の検討を依頼したが、その結果はどうなったか。

→櫻井氏 中間点までであれば、送迎の支援はできるとの報告を更生園長から受けている。

2件目のケースについて

- ・問題の整理はできたか。→佐伯氏：本人との関係性を築いてからだと思っており、時間を要する。
- ・近隣の方に献身的な支援で安定した生活が遅れているのであれば、それでいいので

はないか。

(2) 生活支援部会の進捗状況について

議事録参照

人材確保のためのバスツアーの名称は「福祉の仕事を知るための見学バスツアー」。別添資料を参考に企画の概要を説明。本会承認後、開催する予定。

本会に提出する資料は議事録のみとする。

(3) 個別支援会議分析結果について

前回の運営会議での指摘を受けて、苦しみながら別添のとおり修正した。本会への報告は何とかこれをお願いしたい。また、本会での報告の際に、発達障害児やこどもの課題のための新たな部会（仮称：発達支援部会）を設置する方針も説明したい。

- ・既設の生活支援部会で取り組む課題と、発達障害に関する課題は大きく違うので、別の部会で取り組むべきである。
- ・発達障害に関する課題は、今や大きな社会問題となっている。対応の遅れが、二次障害を引き起こしているのは明白である。早々に部会を立ち上げ、すぐにでも取りかからなければならない課題である。
- ・部会を新たに立ち上げるのなら、山積している生活支援部会の課題を振り分けてはどうか。

運営会議としての結論は、発達障害児やこどもの課題が多いという個別支援会議の分析結果を踏まえて、発達障害児やこどもの課題のための新たな部会を設置する方針を説明する。

(4) 障害福祉計画進捗状況について

- ・訪問系サービスの利用実績が 21 年度に著しく伸びたのは、精神障害者の家事援助の利用が増えているのでは。
- ・訪問系サービスの利用実績が 21 年度に著しく伸びた原因を調べるために、身体介護、家事援助別に数値を見ているのはどうか。
- ・第 2 期計画の訪問系サービスの見込み量が、小さすぎたのではないか。
- ・見込み量の中に養護学校の新規卒業者の数を含めているか。
→含めていない。
- ・地域生活支援事業の箇所数が 20 年度に比べ 21 年度が小さいのはなぜ。
→第 1 期計画は市外の事業所を含めていたが、第 2 期計画は県の指導により市内の事業所だけの数値を計上している。
- ・就労移行支援の利用実績が 20 年度に比べ 21 年度が減っているのはなぜ。
- ・ステップで 3 年を過ぎた利用者が、就労移行支援から就労継続支援（B 型）に移ったため。

(5) 本会における役割分担

本会議事 (2) 個別支援会議の報告及び分析結果について 野崎氏

本会議事 (3) 運営会議及び生活支援部会の報告について 増田氏

本会議事（6）障害福祉計画の進捗状況について 大池氏

3、連絡・その他

増田氏より

相談支援センターいまいせの相談支援専門員の森田が、事情により地域活動支援センターとぼすに異動し、田中が相談支援専門員の後任となった。